

消 防 学 校 だ よ り

令和元年 12 月号
令和 2 年 1 月号

発行年月日 令和 2 年 1 月 31 日
発 行 宮 崎 県 消 防 学 校

★第 25 期救急科

10 月 23 日から入校している救急科も約 2 ヶ月の研修を終え修了となりました。

Dr ヘリ視察研修

宮崎大学医学部附属病院の救急部へ Dr ヘリの視察研修へ行きました。

大学病院の 金 丸 勝 弘 医師より、宮崎県内における空からの救急医療と、ドクターカーについて講義を受けました。



実技効果測定

現役の救急救命士に、実技の効果測定を実施してもらいました。

実際に現場で活躍している救急救命士に、訓練の効果を見ていただくことで、現場に必要な手技が修得できているか確認できたと思います。

講師 宮崎市消防局：小坂 征真 司令
延岡市消防本部：堀野 公考 士長



想定訓練

講師 串間市消防本部：和田 将文 司令補
日向市消防本部：橋口 琢磨 士長
西都市消防本部：濱砂 尚孝 士長

現役の救急救命士を講師に迎え、救急現場活動における想定訓練を実施しました。
想定訓練では、隊長、隊員、関係者等に役割を分担し、救急活動現場における総合的な実動訓練を実施しました。



救急科修了

12月17日（火）第25期救急科の修了式を行いました。

約2ヶ月間の研修は修了しましたが、これからがスタートです。

特に、今年度初任科を卒業し、すぐに救急科へ入校した職員にとっては、本当の消防という世界を知るのこれからです。

県民の安心安全のために力を発揮してください。

総代：小 田 誠 （都城市消防局）



★第 17 期危険物科

12 月 16 日より 5 日間の日程で、第 17 期危険物科研修を実施しました。

県内 10 の消防（局）本部より 13 名が入校し、危険物を中心に予防行政を研修しました。

消防は、消火（警防）・防火（予防）です。警防と予防の両輪をしっかりと回していきましょう。

総代：齊 藤 直 輝（串間市消防本部）



校長講話

12 月 16 日（月）、県の組織説明、情報共有できる職場づくり、公務員の倫理観、コンプライアンス等について受講しました。

学校長 郡 司 宗 則



危険物施設規制及び許認可事務

講 師

宮崎市消防局

濱 砂 貴 士 司令補



12 月 16 日（月）、危険物施設規制及び許認可事務について講義していただきました。

危険物施設の位置・構造・設備

講 師

延岡市消防本部

柳 田 君 彦 司令補



12 月 17 日（火）、危険物施設の位置・構造・設備について講義していただきました。

特別研修 危険物の違反処理

講師 消防大学校 大塚 恭徳 助教授

12月17日(火)、消防大学校 大塚 恭徳 助教授に予防行政の目的、危険物行政の偏差、危険物施設に対する違反処理について講義していただきました。

予防消防は近代消防制度の原点、発生した火災を消すだけの「火消し消防」ではなく、しっかりと予防業務を果たすことの重要性を含め話されました。



危険物視察研修 宮崎石油基地

12月18日(水)、宮崎市にある宮崎石油基地を視察しました。県内最大規模の屋外タンクを有し、県内各地へエネルギーを供給しています。

視察では、宮崎石油基地の 田代 所長より宮崎石油基地の概要を講義していただいた後、宮崎市消防局予防課の 春元 司令、濱村 司令補に危険物施設査察時にチェックするポイントを講義してもらいながら施設を視察しました。

また、宮崎石油基地は、タンカーから石油を陸揚げ後、移送取扱所を介して基地内の屋外タンクに貯蔵しているため、港にある移送取扱所の搬入口も視察させていただきました。

講師 宮崎石油基地
田代 直秋 所長

宮崎市消防局 春元 隆行 司令
濱村 直希 司令補





危険物視察研修 富士フイルムワコーケミカル

12月19日（木）、宮崎市清武町にある富士フイルムワコーケミカル宮崎工場に視察研修に行きました。

富士フイルムワコーケミカルは医薬品製造、毒劇物製造を行う工場で、消防法上に規定されている危険物第1類から第6類すべての危険物を保有しており、保管施設や設備など大変参考になりました。

講師 小倉 英晃 管理部長
白崎 秀男 製造部長

宮崎市消防局 春元 隆行 司令
濱 砂 貴士 司令補



Confidential

FUJIFILM

富士フイルムワコーケミカル株式会社 会社概要(1)

▶ 会社名	富士フイルムワコーケミカル株式会社 (英文表記名: FUJIFILM Wako Chemical Corporation)
▶ 代表者 (代表取締役)	代表取締役社長・嶋田 泰宏
▶ 設立	1986年 (昭和61年) 10月1日
▶ 資本金	7,000万円(富士フイルム和光純薬株式会社の100%生産子会社)
▶ 従業員数	502名 (2019年4月30日現在)
▶ 事業所	・本社・宮崎工場(宮崎県宮崎市清武町) ・埼玉工場 (埼玉県児玉郡上里町) ・ケル工場(兵庫県尼崎市: 富士フイルム和光純薬 大阪工場内) ・平塚工場 (神奈川県平塚市) ・広野工場 (福島県広野町)
▶ 事業内容	富士フイルム和光純薬ブランドの試薬、化成品 医薬品/原薬 (中間体、治療薬等)、高薬理活性原薬(広野工場) 富士フイルム和光純薬ケル事業の業務受託(ケル工場) FFグループ向けを含む有機合成薬品 (感光材料用、フラットパネル材料用) 等
▶ 主な業許可	・医薬品製造販売業 ・医薬品製造業 ・毒劇物製造業
▶ 2018年度 売上高	約200億円

© 2018, FUJIFILM Wako Chemical Corporation

Z



事例研究発表・課題研究発表

12月20日(金)、研修最終日に事例研究発表、課題研究発表を行いました。

地域の実情が大きく異なる県内消防(局)本部の各種事例を聞くことにより、情報共有できました。



★第9期追加講習

1月14日(火)から17日(金)で追加講習を実施しました。

今回で、最後の追加講習となり県内消防(局)本部から12名の救急救命士が参加しました。

総代：河野 孝之(東児湯消防組合消防本部)



ショックの治療と病態

講師：川井田 望 医師（川井田医院）



シナリオ訓練（低血糖関係）

講師：山口 真悟 司令補（東児湯消防本部）



講師：廣兼 民徳 医師（宮崎市郡医師会病院）



★宮崎市新人研修防火訓練（後期）

1月15日(水)から17日(金)の3日間で、宮崎市新人研修の防火訓練（後期）を実施しました。

防火研修には72名が参加し、規律訓練をはじめ、消火器取扱訓練、AED取扱訓練等をおこないました。

市役所入庁後のはやい時期に、消防組織を理解してもらう事は消防組織にも有益だと考えています。

また、大規模災害時には行政のすべての職員は防災要員となる事を自覚してもらえると良いと思います。

研修生集合写真





★第 21 期火災調査科

1 月 20 日 (月) から 31 日 (金) で火災調査科を実施しました。

火災調査は、消防法により消防機関の固有の事務として定められ、火災がどのようなもので、いかにして発生し拡大し、人身と財産にどの程度の被害を発生させたかを明らかにする業務です。

しっかりと基礎を学び、的確な見聞と書類作成が出来るよう研修しました。

総代：竹 山 和 重 (西諸広域消防本部)

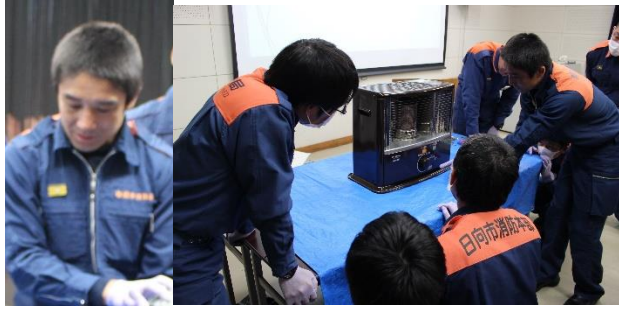


入校式 呼名点呼



火災の定義、原因調査の項目・手段

講師：藤村 修平 司令補（都城市消防局）



焼き判断基礎知識

講師：吉井 剛 司令補（都城市消防局）



火災調査の進め方・要領・鑑識方法（特別研修）

1月23日（木）、消防大学校 小笠原 敬行 助教授に火災調査の進め方・要領・鑑識方法について講義していただきました。

火災の発生及び延焼拡大・被害状況を調査し、その要因を分析することにより、類似火災の予防や延焼拡大防止、被害の軽減に役立て、分析・検討したデータから消防行政を推進する火災調査を行う意義について熱く講義されました。



マグネシウム消火実験

マグネシウム等の切削屑は、切削の方法や条件等により性質が大きく異なりますが、薄い、もろい、鋸歯状で凹凸が激しいと行った形態的な特徴を有しており、消防法の危険物に該当するかどうかに関わらず、火災に対し細心の注意を払う必要があります。



火災調査実技

1月29日(水)、模擬家屋を使用して火災調査実習を行いました。

学生には模擬家屋内の着火及び火災初期は見せずに、火災中期の平均的な通報時間に消防隊を出動させ、調査担当役が見聞等を行いながら鎮圧、鎮火の一連の消防活動を実施後、関係者等(学校教官)に聞き取りを行しながら調査を行いました。

室内の状況 学生は事前に見ていません。

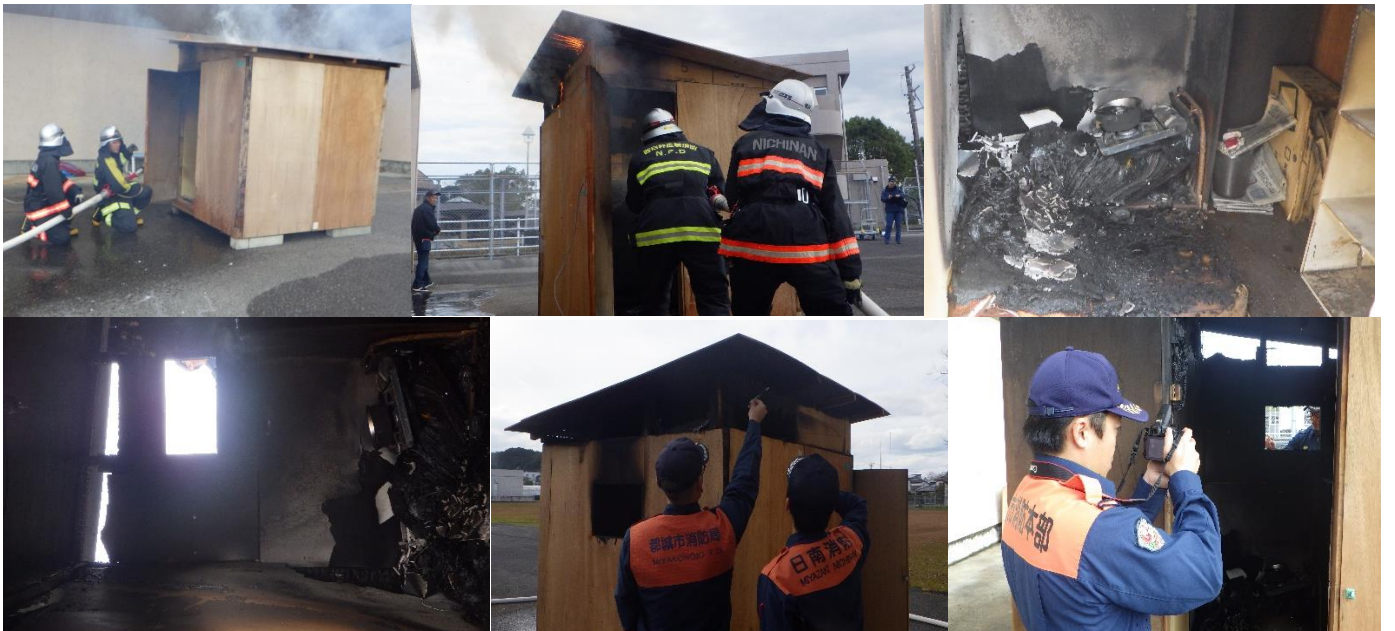


火点



消防隊 消火開始

鎮火



建物入り口（北側）



（南側）



（東側）



（西側）



家屋持ち主（長友教官）への聞き取り



第一発見・通報者（山元教官）への聞き取り



出火場所、出火原因を卒業までに特定してください。



■伐木等特別教育（大径木）受講

1月22日(水)、23日(木)の2日間、教官3名でチェーンソー特別教育を受講してきました。
今後の教育訓練で活用していきます。



2月の主な行事予定

2月 4日(火)～21日(金)	第29期警防・特殊災害科
2月 17日(月)～18日(火)	自衛消防隊員研修第1次
2月 25日(火)～26日(水)	自衛消防隊員研修第2次
2月 27日(木)～28日(金)	自衛消防隊員研修第3次

宮崎県消防学校

担 当:伊豆元 優一(いずもと ゆういち)

電 話:0985-56-0555 FAX:0985-56-1475

E-mail:shobou-s@pref.miyazaki.lg.jp